

## 祝辞

新入生の皆さん、本日は上越教育大学附属中学校へのご入学、おめでとうございます。また、保護者の皆様もお子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私は本年度PTA会長を務めさせていただきます石田明義と申します。

いしだあきよし

PTAを代表し、一言お祝いの言葉を申し上げます。

新入生の皆さんは、今日から上越教育大学附属中学校の生徒です。憧れの附中生になられ、きっと大きな期待に胸を膨らませていると同時に、不安な気持ちもおありかと思えます。誰もが初めは不安ですが、附属中学校には、やさしく才能に溢れた同級生や上級生がいます。きっと皆さんの背中を押してくれることと思います。

この地は桜城おうじょうともよばれ、かつて平城ひらじろとしては全国屈指の高田城本丸がありました。満開の桜や四季折々の豊かな風情を味わえる素晴らしい環境のもと、中学生活を送ることが出来る皆さんはとても恵まれた存在です。この桜城の地で心身ともに成長されますことを願っております。

さて現在、世の中はめまぐるしい速さで日々変わってきており、予測できない様々な事象が起こっていますが、若い皆さんの可能性はまさに「希望」そのものです。皆さんの可能性こそが未来を切り拓く希望です。

ぜひ、大きな「ゆめ（大志）」を持ってください。大きな「ゆめ（大志）」を描いてください。新潟県や日本のみならず、世界を視野に入れた、大きな「ゆめ（大志）」をかがけてください。

きっと附属中学校は、皆さんの大きな「ゆめ（大志）」を受け止めてくれるはずで  
す。熱意と情熱をもった素晴らしい先生たちが受け止め、導いてくれるはずで

よしだしやういん

「ゆめ」を持つことの大切さを説いた人に明治維新の志士・吉田松陰がいます。吉田松陰は何よりも「ゆめ」を持つことの重要性を次のように言いました。

『夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。ゆえに夢なき者に成功なし。』

目標をかがけて歩むときには必ず、計画や実行がともないますが、そこに大きな「ゆめ」をかがけてこそ、目の前に立ちはだかる難関の壁や困難を乗り越えること

ができるのだと思います。決してあきらめず、ゆめの実現に向かってたゆまぬ努力を続けてください。

新たな「令和」の時代になりました。平成という時代が培ってきた土台に、令和という新しいキャンパスに無限のゆめを描くのは皆さんです。新たな令和の時代は、予想もつかないような発想と融合が展開されると思います。この附属中学校において育まれる柔軟かつ創造性に満ちた感性で、時代の主役を担っていただきたいと思えます。変革を起こせる主体者となることを期待しております。

附属中学校で得る学びや経験は、未来あすの自分の大きな自信となり、新たな時代を生き抜く糧となることと確信します。これからの中学校生活三年間を有意義に過ごされることをお祈りすると共に、この附属中学校で、未来あすを生き抜く力を育んでいただきたいと心から願っております。

保護者の皆様方、本日はお子様のご入学誠におめでとうございます。さぞかし慶びもひとしおの事と存じます。

伝統と進取をあわせ持つのが附属中学校の校風でもあります。熱意をもった先生方がお子様と真摯に向き合っていただけのも附属中学校ならではの大きな魅力でもあります。全国でも稀少な米国 Apple 社の認定校に登録されたことは、永年の先進的な教育的取組と実績、そして現場の先生方の功績の賜物です。

お子様の健やかな成長を支えるためには、学校と家庭、そして地域が連携をして支えていくことが求められます。

保護者の皆様におかれましては、PTAにご入会していただき、PTA活動へのご理解・ご協力・ご参加を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

結びになりますが、ご多忙の中、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。そして山縣校長先生をはじめとする諸先生方に、益々のお力添えとご指導をお願い申し上げます。私からの祝辞とさせていただきます。本日は誠におめでとございます。

令和二年四月七日

上越教育大学附属中学校 PTA会長 石田 明義